



おおにし いさお  
大西 功 議員

## 木工場密集地に防火水槽の増設を

町長 引き続き万全な消防力により、安全安心な生活環境の維持に努める

火災時における町内の  
消火栓及び防火水槽の  
数の増設について

去

質問  
る4月29日、町内の  
割箸工場が全焼した  
火災は記憶に新しいところ  
です。

実際に、7時間消火活動を  
続けた大きな火災でした。  
消防署員は、さらに夜通し  
消火活動を続けたと聞いて  
います。

今回の火災場所は、木工  
場密集地帯と言っても過言  
ではない場所だと思えます。  
その割には、消火栓、防火  
水槽の数が明らかに少ない  
と感じます。水利が少ない  
ために、思うような消火活  
動ができなかったことは、  
鎮圧まで時間を要した原因  
の一つと考えられます。そ  
ういった木工所が数軒集ま  
っている場所に、防火水槽の  
増設は喫緊の課題です。

町長 現在町内では、国の  
定める消防力の整備指針に  
基づき消防水利の効果的な

配置を実施し、現在、消火  
栓112基、防火水槽32基  
があります。

議員のご指摘の火災現場  
となった南町の東側地域に  
ついて、消防力の整備指  
針上の「準市街地」として  
基準に沿った設置がなされ  
ていたものでした。

しかしながら、火災時に  
燃え広がりやすい材木など  
の原材料の大量の集積が常  
時なされており、防火上考  
慮しなければならぬ実態  
もあることから、消火栓や  
防火水槽の増設について検  
討したいと思えます。

再質問 私は平成27年と平  
成28年に、消火栓と防火水  
槽の増設の必要性を訴えて  
一般質問をしています。そ  
の時は、必要箇所への重点  
的な強化を含めながら、全  
町的な消防水利の充実強化  
を図ると答弁しています。  
今回で3回目です。北町の  
木工場前の消火栓の移設、  
ゴミ集積場と五味温泉の周  
辺に防火水槽が建てられま  
したが、それ以降、全くも

って消火栓新設また防火水  
槽の新設の実績はありませ  
ん。これらをもつて、強化  
は終了と考えると、その後の  
増設まで検討もなかった  
のでしょうか。

町長 財源の問題がありま  
す。その財源と見合う計画  
を今後も立てていく予定を  
していますので、期待する  
規模になるかは答えられま  
せんが、いずれにしても、  
設備については検討してい  
る状況です。

再質問 今回の火災が起き  
た工場周辺には消火栓が4  
箇所あります。その消火栓  
を繋いでいる水道本管は直  
径100ミリの細いもので  
す。1台の消防車がどれか  
1箇所の消火栓に繋いで水  
を吸い上げると、他の消防  
車が残りの消火栓に繋いで  
も、ほとんど水が出てきま  
せん。しかも、その時の周  
辺の家では、何時間も水  
が出てこない状態が続きま  
した。

浄 水場の更新が計画さ  
れ、現在の貯水量

よりも、新しい浄水場はも  
っと少ない計画と聞いてい  
ます。町内の水道本管を太  
くすることに、無理がある  
のならば、防火水槽を増設  
するのが得策と考えます。

今回の火災の起きた割箸  
工場は事業承継の話も進み、  
従業員の方々も仕事を続け  
られると喜んでいた矢先の  
火災だったわけです。火災  
の火は消えましたが、消えて  
はいけないうる産業の火まで消  
えることになってしまった  
んです。今後、このような  
火災が起きないと言い切れ  
ない以上、素早い消火のた  
めに、もう一度全町的な消  
防水利の強化を進めていた  
だきたいと思えます。

町長 一定程度整備をする  
ことよって災害の対策を  
図っていくことが叶うこと  
がありますので、その辺は  
念頭に置きながら、今後防  
火水槽についての計画など  
を、消防の方としっかりと  
協議したいと思えます。